



目黒南中だより

令和8年度 第2号

令和8年5月1日発行

目黒区立目黒南中学校



目黒南中学校ホームページ

【教育目標】 自立 協創 信頼

チームや集団から学ぶ

校長 金子弘樹

新緑が美しく、清々しい風を感じる季節になりました。新年度の始まりから早くも1ヶ月が過ぎ、新しい学年や学級にも少しずつ慣れてきたように思います。

5月は学級や部活動など、様々な集団やチームでの活動が本格的に始まる時期です。また学級活動や学校行事、部活動などを通してクラスメイトやチームメイトとの関わりが一段と深まっていく時期でもあります。1年生は校外学習（5月12日）、3年生は修学旅行（5月17日～19日）、そして全校で取り組む体育大会（6月6日）に向けた練習など。これらの活動や経験を通して、自分で判断行動しようとする気持ちや新しいことに挑戦しようとする気持ち（自立）、仲間と協働して取り組もうとする気持ち（協創）、そして最後まで粘り強く取り組もうとする気持ち（信頼）を育むことを目指します。

学校や地域の活動には、集団だからこそ味わえる体験がたくさんあります。喜んだり楽しんだりすることがたくさんありますが、一方、意見や考えが違う、思い通りに進まないなど悩むこともあります。しかし、こうした経験があるからこそ、人としての成長につながると思っています。合意形成を図る力、人間関係を修復する力、相手の立場や考えを尊重して行動する力など社会で求められる力を、集団生活を通して身に付けることができます。元野球選手のイチローさんの言葉として「小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道」があります。この小さなことには、あいさつをする、時間を守る、モノを大切に作る、困っている仲間に声をかけるなども含まれています。様々な学校生活や集団生活を通して一人一人が小さな体験を積み重ね、よりよく生きる力を育ててほしいと思います。

チームづくりの5月、集団と関わる時間が増える5月。「今、自分にできることは何か、自分がやるべきことは何か」「この集団やチームのために何ができるか、よりよい集団やチームにするためにどう行動するか」を考えながら日々の活動に取り組んでください。一人の小さな積み重ねが自分の成長につながるだけでなく、一人一人の小さな積み重ねが大きな集団の、そしてチームの力になるはずです。